

先生が、次のような問題を出しました。

先生と、Aさんとで0～9の数字カードを4枚使った数を作ります。それを2回繰り返して、その合計を求めましょう。

実際にAさんと先生が、やってみると、次のようになりました。

Aさん	1038
先生	8961
Aさん	7520
先生	2479

すると、先生はポケットから紙を出しました。その紙には「19998」と書かれていました。Aさんが計算をしてみると、4つの数の和だと分かりました。先生はAさんが数字を言う前から答えが分かっていたようです。

不思議に思ったAさんは、もう1回やってほしいと頼みました。すると、先生は「今度は0をなくして、1～9までの数字を使ってやってみよう」と言い、先生は取り出した紙にある数字を書いてポケットにしまいました。

Aさん	9999
先生	1111
Aさん	4719
先生	6391

すると、先生はポケットから紙を出しました。その紙には「22220」と書かれていました。Aさんが計算をしてみると、4つの数の和だと分かりました。

先生はどのようにして、その数を事前に当てたのでしょうか。

.....

解答例

1回目は、Aさんの数と先生の数との和が必ず9999になるようにすることを2回繰り返しました。9999を2回繰り返すので、 9999×2 で19998となります。

2回目は、Aさんの数と先生の数との和が必ず11110になるようにすることを2回繰り返しました。11110を2回繰り返すので、 11110×2 で22220となります。

「考える力を育てる問題」申込用紙

下の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、問題文と一緒にメールか郵送で送ってください。

締切：平成28年12月9日（金）

申込日： 12月6日

氏名	姓 名 本間 裕		
所属 (学校)	胎内市立黒川小		
学年	3年 (全学年可能) 年	教科 (○で 囲む)	国語, <u>算数</u> , 理科
単元名	たし算とひき算の筆算		
問題の見所	単なる基礎計算ではなく、数の仕組みとしてとらえ させることができる。また、逆解きの形で出題してい るため、児童の興味・関心を引き出すこともできる。		
出典 (必要な場 合のみ)	本文に書いた通り、講演会の内容をもとにしているため、 紙ベースの資料はないため送付できません。 ※元になった問題をお送りください。(メール、郵送)		

申込用紙、問題の送付先

新潟県小学校教育研究会 事務局 貝沼浩晃

〒950-0908 新潟市中央区幸西3-3-1 じよいあす新潟会館2階

☎025-290-2231 FAX025-245-6060

E-mail k-shoken@niigata-inet.or.jp <http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken>